

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・14〉	いわき市立	川前	中学校
〈実施日〉	平成 28年 8月 2日 (火)			
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。			
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他 ()	
〈実践内容〉				
1. 放射線への興味・関心を高める	「データでなっとく放射線 なすびのギモン」(環境省)の「健康影響編 食品編・身の回りの放射性物質」を授業前に読ませ、私たちの生活に放射線はこれまでも関係してきたということを知る。			
2. 放射線の基礎知識を持つ	(「調べてなっとく放射線」(環境省)を利用する)			
(1) 放射能・放射性物質・放射線について	言葉の意味を知り、それぞれの性質の違いについて知る			
(2) ベクレル・シーベルトについて	Bq・・1秒間にどれくらいの放射線を出すかを表す単位 Sv・・放射線が、人の体に与える影響の強さを表す単位			
(3) 半減期について	イメージ図を利用し、どのようにして放射能が減っていくのかを知る			
(4) 放射線の体への影響について	外部被ばく、内部被ばくとはどのようなことなのかを知る			
3. 感想発表	今回初めて学んだことや感じたことや、今後どのように放射線に向き合っていきたいかを話す。			
4. 教師から	放射線は私たちの日常生活に原子力発電災害以前から深い関わりがあったこと。そして放射線へ漠然とした不安を抱いているのではなく、正しい知識をもち、正しい対応をしていくことが大切であると伝える。			
〈成果〉	生徒たちは放射線に対して漠然とした不安を抱いており、ニュースや新聞等で日々「放射線」に関しての報道を目にしても、それがどのように自分の生活に関わりがあるのかを理解できないでいた。しかし、本時の授業を通して正しい知識をもち安心して放射線に向き合うようになったように感じる。			
〈課題〉	自分の専門ではないので教えるにあたり、自身の知識のなさを感じた。研修等で知識の量を増やしていきたい。			
資料作成担当者職(教諭)氏名	(後藤 悠理)		学校電話番号 (84 - 2224)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)